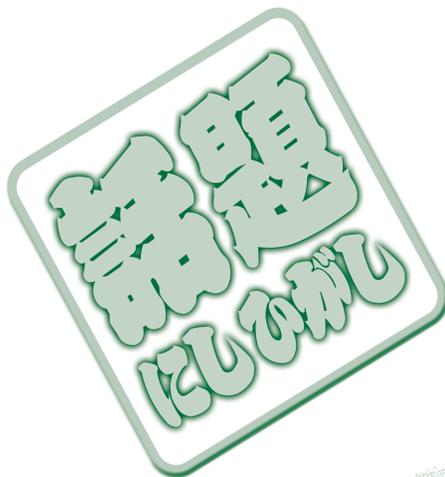


富士見スキー場でスキー大会

2月3日(日)、町営富士見スキー場において、第34回町民スキー大会兼第33回喜寿杯スラローム大会が開催され、距離競技に8人、回転競技に21人の小学生が参加し、タイムを競いました。結果は以下のとおり(各競技1位入賞者のみ掲載)。

町民スキー大会(距離)▷男子4年:佐々木 瑠盛(水元中央小)、
▷男子5年: 湊谷 太陽(水元中央小)、▷男子6年: 岡樺 嵐(水元中央小)、▷女子6年: 佐々木 芭菜(水元中央小) 喜寿杯スラローム大会(回転)▷男子2年: 相馬 新大(鶴田小)、▷男子3年: 松江 伶恩(胡桃館小)、▷男子4年: 相馬 大羅(鶴田小)、▷男子5年: 山谷 一茶(胡桃館小)、▷男子6年: 神鷹 朗(鶴田小)、▷女子1年: 川村 衣美(富士見小)、▷女子2年: 山田 侑奈(胡桃館小)、▷女子3年: 湊谷 華(鶴田小)、▷女子4年: 蔭苗 依里(梅沢小)、▷女子5年: 齋藤 柚那(水元中央小)、▷女子6年: 永山 りの(鶴田小)



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班(内線262)までお知らせください。



△回転競技で旗門をかわしながらゴールを目指す選手

昔ながらの遊びを子どもたちへ

2月4日(月)、町生活改善グループ連絡協議会(小野寺のり子会長)から、手作りのお手玉300個が寄贈されました。同グループでは、20年以上前から毎年お手玉を寄贈しており、町内の各小学校へ配布されています。

当日、寄贈に訪れた澤田なよさんは、「最近ではゲームで遊ぶ子どもたちが増えていますが、昔ながらの遊びにも触れて興味を持ってもらいたいです」と寄贈への思いを話していました。

中野雄臣教育長は、「学校や子どもたちのためにいろいろな形で協力していただいて本当にありがたいです。昔ながらの遊びに興味を持つきっかけにもなります」と感謝を述べていました。



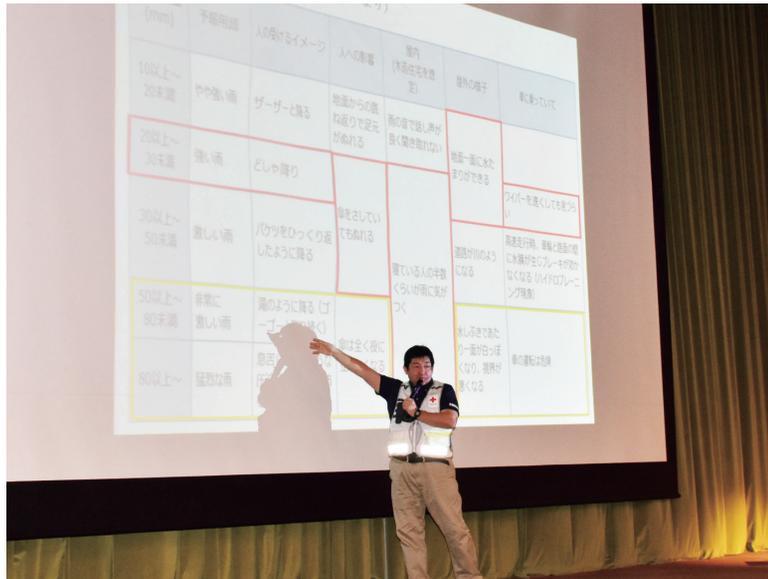
△お手玉を中野教育長へ手渡す生活改善グループの会員の皆さん

自主防災組織の重要性を学ぶ

2月7日(木)、町国際交流会館ホールにおいて、青森県自主防災組織体験研修会「自主防災で何する？」が県と町の主催で行われ、約100人が参加し、自主防災組織の重要性を学びました。

相川町長は、「近年大規模な災害が発生しており、日頃からの防災の備えの大切さを痛感している。皆さんと共に災害に強い町にしていきたい」とあいさつしました。

研修会では、日本赤十字社青森県支部事業推進課長の吉川靖之氏が講師を務め、公助に限界があること、それを克服するために自助や共助が重要であることを説明し、自主防災組織に必要な知識などを分かりやすく解説していました。



△天気予報の見方について説明する吉川講師



△式辞や祝辞に耳を傾ける出席者

第二の人生の出発をお祝い

2月11日(月)、今年度還暦を迎えた町民を祝う「実年式」(成田春光実行委員長)が町国際交流会館で開催され、出席した町民と町出身者81人が旧友との再会を喜び、近況を語り合いました。

還暦は、60年で干支が一回りし、生まれた年と同じ干支の「本卦還り」とされています。

式では、出席者が国歌と町民歌を斉唱し、町民憲章を唱和。相川町長が「今日は皆さまの第二の人生の出発である慶びの日。これまで培った経験や知識を活かして、これからも豊かに暮らしていただきたい」と式辞を述べました。

このほか、式典前には厄払いと健康長寿の祈願が執り行われました。

雪室リンゴのおいしさに感動

2月20日(水)、水元中央小学校の5年生11人が、中野光彦さん(妙堂崎)の自宅敷地内で、昨年12月から雪の中で貯蔵していた「雪室リンゴ」の掘り出し体験をしました。

掘り出したのは、昨年春に子どもたちが人工授粉を行ったサンふじや王林など5種類のリンゴで、その場で切って振る舞われたリンゴの、みずみずしい果汁と甘いにおいに子どもたちは「すごく甘い」「冷蔵庫で保管するのとは違っておいしかった」と笑顔で食べていました。

参加した中野美月さんは「とても甘い香りでおいしい。春に私たちが授粉したリンゴがこんなにおいしくなって嬉しい」と笑顔で話していました。



△子どもたちは重いリンゴ箱を協力して運んでいました